

学力向上の取組 ～振り返りにより「学びの自覚化」を促す実践を通して～

市原市立千種中学校

1 はじめに

(1)千種中学校の概要

千種中学校は京葉工業地域に隣接する地域にあり、JR内房線の五井駅と姉ヶ崎駅のほぼ中間に位置している。以前は半農半漁の地域であったが、臨海工業地帯を形成する一角に組み込まれ、平成5年頃から学校周辺の宅地造成が始まり、人口の社会増がみられる。保護者の職業は大半がサラリーマンである。学校行事やPTA活動等に関心が高く、今後は学校と家庭、地域が三位一体となり子供たちを育てていくことが課題である。

(2)本校生徒の実態

学力の根幹を支える言語能力や基礎的な計算力が十分に身に付いていないために、授業に参加しても学習内容が理解できず意欲をもてない生徒が多く存在する。例えば、過去3年間の全国学力・学習状況調査の正答率を見ると、本校は特に数学が全国平均を下回っている。具体的には、グラフと表を関連付ける問題やきまりから求められる計算について文字式を用いて説明することなどに課題が見られる。計算力や数学で使われる言葉の意味を理解することなど、学力の根幹を支える資質・能力が十分身に付いていない生徒に、基礎的・基本的な知識の定着とそれらを活用する能力を育成することこそ、本校の課題である。

2 研究の目標

令和元年度「学力・学習状況」検証事業・令和2年度「ちばっ子の学び変革」推進事業

(「学力・学習状況」検証事業)において研究協力校として指定をいただいたことを契機に、数学はもとより、全教科をあげて「この授業で何を学んだか」を生徒が自身の言葉で的確にまとめることができる姿を目指して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んだ。

3 取組の重点

- 「目に見える振り返り」「自分で学んだことを書く振り返り」を実践する
- 「振り返り」の場面を意図的に設定する
- 学校をあげて振り返りに取り組む

(1)全教科の取組

- ①定期的に教科部会を開催
「振り返り」の検討と実践
- ②各教科の実践を全職員で共有
- ③「振り返り」を意識した授業研究会の実施

(2)数学科の取組

- ①授業での振り返り
- ②カード・掲示物を使った振り返り
- ③全国学力学習状況調査の既出問題や、長文問題の活用
- ④「自己評価カード」の活用
- ⑤振り返りテスト、振り返りシートの実施
- ⑥放課後10分間の補習の実施

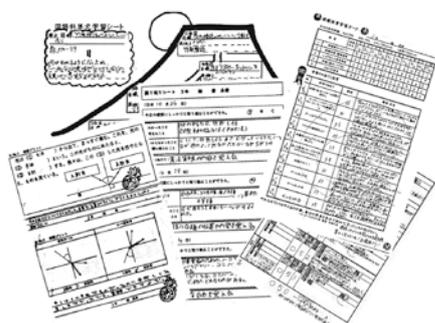
4 研究の実践

(1)全教科の取組

- ①定期的な教科部会で振り返りの場面と方法を検討した。特に2年目は「目に見える振

り返り」「自分で学んだことを書く振り返り」の方法を研究した。

- ②各教科の実践を全体研修会で発表し合い、取組を共有した。全教科で「自己評価カード」を活用した。
- ③振り返りの場面を意図的に設定した授業の研究会を実施し、南房総教育事務所指導主事から助言・指導をいただいた。



各教科の職員からは、「自己評価カード」を活用することにより、言語活用能力が向上してきたこと、学習目標が明確になったこと、生徒の理解度の確認ができるようになってきたことが成果としてあげられた。

(2)数学科の取組

- ①授業開始時に前時の学習内容を扱い、本時の内容につなげた。繰り返し振り返ることにより、基礎的な知識・技能を習得する生徒が増えてきた。
- ②3年生ではカードを活用し、毎時間2乗の数や平方根、ルートの中を簡単にする等、声に出して言わせたことで自然と覚えることができた。
- ③指導主事を招聘した授業研究では、全国学力学習状況調査の既出問題や長文問題を扱い、振り返りの授業実践をした。数時間の授業で大きな変容は見られないが、やや難しめの問題や長文にチャレンジしようという意欲が見られるようになった。
- ④自己評価カードを毎時間授業の終わりに記入させた。「わかった、できた」ではなく、

「自分が学んだこと、わかったこと、わからなかったこと、この学習で大切なことは何か」等を記入させ、教科担任が10時間単位で評価した。またよくまとめられているものを紹介した。自分の考えを言葉でまとめることが上達してきたと思われる。

- ⑤テスト返却1週間後くらいに、振り返りテストを実施し、併せて振り返りシートを書かせた。定期テストに出題した基本的な知識や技能の再確認ができ、学習の反省ができた。

- ⑥放課後に10分間の補習を実施した。プリントを活用し、計算等の基礎的な技能の向上を目指した。10分という時間にこだわったので、部活動等の放課後の活動にも影響なく自分の力で問題を解くことの感動を味わわせることができた。

5 おわりに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまでどおりの教育活動を行うことが難しくなった。「3密」を避けるために教え合い活動やグループ活動等が行えず研究の検証も不十分なものとなってしまった。そのような中でも学校をあげて「振り返り」を合い言葉に毎日の授業を大切にしたい研究を実践してきた。その結果、生徒自身が指導内容をしっかりと捉え、自分の言葉で表現し、主体的な学習につなげることができたことが最大の成果であると考えている。